

令和7年度 事業計画書(案)

令和7年4月 1日から

令和8年3月31日まで

基本方針

令和7年度の政府の経済見通しは、個人消費の拡大持続、海外景気の復調を受けた輸出の増加、設備投資の拡大により回復基調を維持する。金利上昇の影響により年後半は一時的な停滞の可能性はあるが、今年度補正予算で具体化された13.9兆円規模の経済対策が下支えし、成長率は1%台半ばまで高まると見込んでいます。

このような中、商工会は「小規模企業者支援法」が改正され「伴走型支援」が整備されました。第2回経営発達支援計画5年間を策定して経済産業省に申請承認され、計画に沿って時代に即した伴走型支援を行い、不易流行を図っていききたいと考えます。

本会では、中小小規模企業の生産性の向上や販路開拓を図るため、国の「小規模企業者持続化補助金」「事業再構築補助金」「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」、県の「中小企業等収益力向上事業費補助金」、「小規模企業経営力向上事業費補助金」等中心に中小小規模企業施策を積極的に活用していきます。

加えて、県・市において中小企業・小規模企業条例に基づき、小規模企業に焦点をあてた施策が講じられています。こうした支援制度に積極的に協力対応していきます。

重点項目に取り組むことで、会員の抱える問題の解決に一步でも近づく所存です。財政基盤及び存立基盤を強化するとともに、商工会が推進している会員福祉共済及び商工貯蓄共済の加入促進を強化し、経営改善普及事業をより一層力強く実施していきます。

つきましては、会員皆様の格段のご理解ご協力と市当局関係機関のご支援ご指導をお願い申し上げます。なお、重点事業及び細部の事業につきましては次の通りです。

重点事業

1. 新経営発達支援計画事業

経済産業大臣に平成28年第1回、令和2年第2回を認定され本年は最終年度を迎えるとともに、第3回目の認定に向けて計画を作成していきます。コロナ感染から国が進めたキャッシュレスは急速に進み、非接触をするためにWEB会議が常識的になるなど、環境がおおきく変化しています。また、DX等叫ばれる中、中小企業小規模企業を応援していくための、「新経営発達支援計画」を策定していきます。

商工会の基本である巡回訪問により、事業所の相談の掘り起し、「経営革新事業計画」・「持続化補助金経営計画」・「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」等に対しての「相談」「専門家派遣」を行い、小規模事業者の経営状況の分析、需要を見据えた事業計画の策定・実施に係る伴走型の指導・助言、商品、サービスの需要動向、地域の経済動向に関する情報の収集提供、問題解決のためのセミナーの開催、広報、商談会・展示会等の開催及び参加、需要の開拓に寄与する事業など支援認定計画を策定実施していきます。

2. まきペイ活用事業

地域経済に必要なことは地域の中のお金を、地域の中で回すことです。そして、さらに重要なことは、人々が地域の将来に対する希望と自信を持って、互いに支えあえる仕組みを作ることです。

まきペイは、縮小しつつある地域経済を復興するために、地域の中のお金をなるべく回すことによって、さらに大きなお金を回すためのツールとして活用すべきと考えます。具体的活用をするため検討委員会を組織して、検討実施していきます。

3. 外国人実習生受入れ事業

厚生労働大臣・法務大臣より「監理団体許可」を取得しました。技能実習制度は開発途上地域等への技能等の移転を図り、その経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的としていますが、国は制度の見直しを検討して、新制度の目的をこれまでの国際貢献から外国人材の確保と育成に変え、2027年より「育成就労制度」に名称変更する予定です。外国人側だけでなく受け入れる企業側にとってもメリットのある制度にする必要があるとしています。また長期勤務をして頂けるよう、特定技能制度の許可についても検討してまいります。

4. 人材確保対策事業

少子高齢化による従業員採用に苦慮しているため、国の補助金等を活用して「県内」での合同転職フェア及び「地域内」での合同転職フェアを開催して、人材の確保をしていきます。

5. 事業承継と創業者支援事業について

事業承継に向けた準備を先延ばしにすることで、例えば、後継者・譲受側の選定に時間をかけるなど、時間的余裕があれば取りえた選択肢が徐々に失われていくことも踏まえ、早めに事業承継に向けた準備を行う必要があります。

そこで事業承継に向けた計画的な準備と課題を、専門家による個別相談会及びセミナーにより、税制措置、事業承継補助金等解消へ導くよう実施していきます。また、創業希望者へ支援強化を実施すると共に、マッチング支援及び後継者育成塾等の開催に取り組みます。

6. 支部合同懇談会による情報交換と組織の充実及び共済事業の推進について

会員ニーズへの対応とタイムリーな情報提供に努め、組織のかかわりを強固にするため市内6か所で懇談会事業を開催します。会員事業所に低額で安心安全な共済制度をご提案していきます。貯蓄・保険・融資の3つの機能を備えた商工貯蓄共済制度と、けがによる死亡・後遺障害、入院、手術、通院を補償する福祉共済制度を推進致します。

(1) 経営改善普及事業

- ① 経営指導員を中心に会員からの相談に応じ、適切な指導の実施
(経営革新・経営一般・税務・金融・労働・取引・創業・その他)
- ② 事業所に対する巡回指導については、強化月間を設定し積極的に推進
- ③ 経営発達支援計画に沿ったセミナーの開催
- ④ 能力向上講習会の開催
- ⑤ 経済の動向や会員のニーズに即した、講習会・講演会を開催
- ⑥ 小企業等経営改善資金等の各種融資制度のPRと効果的な融資の斡旋

- ⑦ 記帳機械化の促進と、経営の安定化のため継続的な税務指導を実施
- ⑧ 労働に関する相談に対し適切な指導を行うと共に、諸手続きの事務代行を実施
- ⑨ 小規模企業共済・経営セーフティ共済・中小企業退職金共済制度の普及と推進
- ⑩ 小規模事業者持続化補助金事業の推進と実施
- ⑪ 経営相談窓口の拡大事業「予約制-なんでも相談室」の開催
- ⑫ 経営及び技術に関する新しい情報や資料の収集・提供
- ⑬ 事業承継相談窓口の開催
- ⑭ 後継者育成塾の実施
- ⑮ 外国人技能実習生受け入れ事業の推進実施
- ⑯ 税務研修会、講習会の実施
- ⑰ 監督署、安定所、基準協会、各種団体と連携し労務対策の円滑化に務めます

(2) 地域総合振興事業

(総務企画委員会)

- ① 商工会事業の円滑な運営と組織強化及び会員相互の融和のため支部の振興と支部会の開催
- ② 財政基盤強化策の研究と推進について
- ③ 行政及び関係団体等との連絡強調並びに情報交換会
- ④ 県連、地区連事業に参加し、各種事業の推進について
- ⑤ 市商工業振興利子補給制度の普及と市企業誘致並びに市内企業育成の推進について
- ⑥ 新年会員交流会の開催について
- ⑦ 富士山静岡空港を活用した地域振興について
- ⑧ 牧之原市商工会機関紙に関わること
- ⑨ 会員及び従業員を対象としたスポーツ事業・親睦事業の開催について
- ⑩ 地域通貨「まきペイ」の活用方法検討委員会開催について
- ⑪ 牧之原市妊婦健康診査等交通費助成事業への協力
- ⑫ 経営発達支援計画に沿った展示会、イベント等実施について
- ⑬ デジタル化情報発信事業について
- ⑬ 会員及び従業員生活習慣病健診の実施について
- ⑭ 「マキティー軽トラ市」推進について

(金融審査委員会)

- ① 金融斡旋事業における日本政策金融公庫小企業等経営改善資金推薦審査・提携斡旋融資等に関する委員会開催
- ② 金融相談会（日本政策金融公庫）に関すること
- ③ 各金融機関との情報交換会開催
- ④ 小企業等経営改善資金運転資金利子補給制度の実施

(共済推進委員会)

- ① 商工貯蓄共済及び全国商工会会員福祉共済の加入推進
- ② 国・県が推進する小規模企業共済制度、経営セーフティ共済及び中小業退職金共済制度と特定退職金制度等の普及と推進
- ③ 榛南地区勤労者共済会への加入促進

【商業振興事業】

- ① 新規顧客獲得のための販路開拓事業の研究・実施
- ② 商業振興に役立つ販促セミナー、実務セミナーなどの開催
- ③ 商業振興に取り組む先進地など視察研修の実施
- ④ 買い物弱者に向けた販売事業の研究・実施

【工業振興事業】

- ① 最先端技術・先進事例等視察研修の実施
- ② 安心・安全な労働環境等の確保につなげる研修の実施
- ③ 各種助成金・補助金セミナーの開催実施
- ④ 広域商工会（SKY ビジネスカンファレンス）との連携・交流
- ⑤ 合同企業説明会への参画

【建設振興事業】

- ① 住宅リフォーム費用助成事業の実施
- ② 建設業界 2025 年問題への対応のための調査研究及び事業の実施
- ③ 部会員アンケートによるニーズに合わせた技能資格取得等講習会及びセミナーの開催
- ④ 牧之原市の施策を知り自社の経営に生かすための行政及び部会員との情報交換と交流会の実施
- ⑤ 建設資格取得費用助成事業の実施
- ⑥ 防災等まちづくり先進事例研修の実施
- ⑦ 健康増進の為の部会員親睦事業の実施

【観光飲食サービス振興事業】

- ① 飲食店・宿泊店の新たな顧客獲得及び各店舗のPRを目的とした「まきのはらではしご酒」事業の継続開催
- ② 地域活性化事業など先進事例箇所の視察研修
- ③ 部会員交流事業の実施
- ④ 業種別各種セミナー、講演会等の実施
- ⑤ 各業種別組合・団体との連携及び組織強化

【農業地場産品振興事業】

- ① 市内で栽培される農産物を知って貰い食して愉しんでもらい生産者のPRを目的とした「仮称：まきのはらの旬を楽しむ会」の実施
- ② 販路開拓支援としての「第2回まきのはら夢コンテスト」実施に向けた検討、準備
- ③ 先進事例視察研修の実施
- ④ 各種セミナー、講演会の実施
- ⑤ 関係団体との連携事業実施及び協力体制構築

【青年部事業】

- ① 青年部員の加入促進の実施
- ② 組織活性化のための交流活動の促進
- ③ 先進地域視察研修会の実施
- ④ 各種セミナー、講演会等の実施
- ⑤ 後継者育成対策および研修会の開催
- ⑥ イルミネーション事業等の地域振興事業、各種イベントへの協力
- ⑦ 青少年育成事業
- ⑧ 他団体との連携・交流事業

【女性部事業】

- ① 女性部員加入促進の実施
- ② 女性部員交流会の開催
- ③ 講演会、講習会の開催
- ④ 先進地視察研修会の実施
- ⑤ 地域特産品を活かした商品開発研究
- ⑥ 地域活性化対策「おもてなしプラン」の発掘研究
- ⑦ 地域振興事業、各種イベントへの協力
- ⑧ 県連・地区連女性部事業への参加
- ⑨ 他団体との連携事業